



「自衛隊」やるベンチャー

2等陸曹 熊崎 敏



新町駐屯地施設案内



新町駐屯地隊員食堂での体験喫食

自衛隊群馬地方協力本部高崎地域事務所（所長 2等陸尉 宮本 直樹）は、令和7年5月20日（火）から21日（水）までの2日間、高崎市立新町中学校（男子7名）に対して、「やるベンチャー（職場体験）」を支援した。

「やるベンチャー」とは、高崎市の中学生が実施する地域社会の中で、自分らしい生き方を見つかる為に自ら考え、社会的・職業的自立心を養うことを目的としている。

生徒たちは隊員行動の基礎的行動（では、「気をつけ・敬礼・回れ右」の各動作を体験した。当初は回れ右の要領が学校で習ったものと違い戸惑いがあったが、すぐに要領を習得し号令に正しく対応する事ができていた。また、生徒たちは敬礼の動作を習得した喜びから、駐屯地内ですれ違う自衛官に対して積極的に敬礼を行っていた。

2日目は高崎地域事務所において、広報イベント等で配布するオリジナル缶バッジ作りを体験した。基本教練で覚えた敬礼の動作を撮影し、それぞれのオリジナル缶バッジを作成した。初めての缶バッジ製作機に興味津々で最終笑顔が絶えなかった。

自衛隊の体験を終えた生徒から「隊員さんたちのご飯を食べるスピードが早くてビックリした。」「明日学校に行ったら先生にオリジナル缶バッジを自慢します。」「記念に貰ったドッグタグは宝物にします。」「体験学習先を自衛隊にして良かった。」などの感想が聞かれた。

今回の「やるベンチャー」を通じて、7名の生徒に自衛隊の活動等を知ってもらうきっかけとなり、とても有意義な体験であると感じた。今後とも地本一丸となり、あらゆる機会を通じて自衛隊に対する理解を少しでも深めてもらえるよう一層の努力をしていきたい。



高崎地域事務所でのオリジナル缶バッジ作り体験